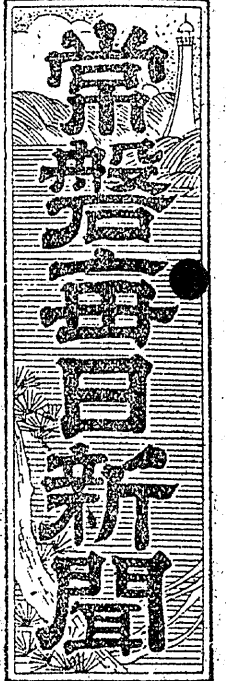


刊夕日八廿月八



定額一円五角
 廣告料五圓
 日曜祭日の日休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社



旅の片々 [一]

平署千代田金平

「平消防組の消防視察の同伴をして、二十日から二十四日迄五日間、伊勢、名古屋、一の宮、岐阜、富山、新潟の各地を歩いて来た。消防視察記は改めて詳細紙面をお借りする事として、今回は旅の印象を鈍筆に任せて紙面を汚しました。題して「旅の片々」一行は井上組頭、高根澤、岡田、田中根本の各小頭、織田、菊田小菅の各伍長及根本吉田の警備委員と小職の十一名」

洗面後のバサ／＼した気分では位置へ戻ると窓外には田も、小川も、並木も、家も、耕す人も、小さな朝鮮牛も、模様の様に型付けられた儘とんで行く、遠くの空に動いて居る雲の雲だけが千切られた綿の様に柔らかな、ふんわりと動かずに一つ二つ浮いて居る。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁—きつたま芋 小付 やさのり
 【晝】深川煮—(むきみ葱 味噌)
 【晩】野菜碗(馬鈴薯 人参 ハム)
 煮物 鱈 あられ生 妻

電柱が矢張り窓をかすめて、旅情を防げるのが憎らしい。

◆ 驛夫の呼ぶ「山田」の聲に車外に出た。鳥羽行の列車は殆ど空だ。改札口から吐き出されると、直ぐ自動車で外宮に向つた。此の間五

分ともかゝらない。玉砂利を踏んで社前に額づけば、自ら身心の引緊るのを覺えた。

直ちに引返し、自動車を驅つて内宮に向ふ舗道一里半。

「此の右にありましたのは大和姫命をお祀りした社でありまして、大和姫命は天照皇大神様の道案内をされたお方、こちらにありましてあの神社は伊弉諾、伊弉册尊所謂天照皇大神の御両親をお祀りした處、あちらに見えるのが猿田彦神社俗に天狗様と言ひますね、鼻の高い方、あの神様は悪神共を追拂つて天照皇大神のお屋敷を定められたお方でありまして。左に見えますあの高い山、あれは日本三虚空藏の一つがお祀りしてある朝熊山であります」

と親切な運轉手は軽い口調で道々細々と説明して呉れた。

自動車を降り大鳥居をくぐつて宇治橋を渡る頃、絹糸の様な雨が静かに雨具の用意のない自分等に降り注いだ。俗塵に汚れた身を大自然は洗ひ浄めて呉れるの意なのだらう。

木々の梢は細雨に煙つて殊更らに神々しい。

御披露中 特価一、四〇

平町田町 永山酒店 電話二〇七番

醸造石數四千石

昭和二年以來連續優等入賞

元造 釀 郡山村西縣形山 御設樂規矩三郎

酒 銘 赤

御新盆提灯

是非御用命は！格價低廉のスガノヤ提灯店へ

平四 電話四九五番

御戒名提灯
 特製スソ模様入レモ出来マス……

岐阜提灯・變形提灯
 ……各種取揃へました……

是非！チンドンヤを御利用下さい
 委細は平町仲間町六九丸屋春日亭米之へ

時節柄宣傳には……

提灯同業組合

昭和三十二年八月

お待兼の……平名物(今年の)！

七夕祭のエハガキ

◎色刷 八枚組 一組 二十錢

一部数に限りありますから御早く御求めを願ひます。

平驛前

いづみや玩具店

吸入用酸素純度99%

度量衡 器量計

モノサシ マス ハカリ

寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局 電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

平町の合格壯丁

抽籤結果

昭和十一年度平町壯丁甲種合格者中昨二十七日福島市公會堂で抽籤の結果左の如く決定發表された尙籤外は志願兵である

(歩兵)下河原三浦清 鐵治町吉田直吉 田町吉成清 新川町林三郎 同町鈴木泰久 久保町和田光雄 胡摩澤伊藤正雄 南町仲井秀三 長橋町川角幸一 立町松本清太郎 (輜特)鎌田町小野照行 (看護兵)古鍛治町眞田朝春 (騎兵)材木町大平富重 田町安田義隆 (輜)櫻町栄光雄 (鐵道兵)長橋町植頭正 (航空兵)白銀町鈴木正勝 (飛行兵)下河原木村正行 (輜)材木町辻久次郎 (野砲兵)材木町二面眞純 齋藤定雄 (主計兵)研町淺井忠良

唯一人の代表選手

大浦青年申込

既報九月十三日警中ゲラシドに開催される郡聯合青年園体育大會の出場申込み

上遠野に電話 上遠野郵便局は来月上旬より電話交換事務を開始するので目下局舎改築中

特高課長来平 襲袋

新任本縣特高課長は初巡視のため二十七日夜來郡湯本町松栢館に同夜は一泊廿八日は午前中三大炭礦を視察、午後は平署を視察した

敵機空襲の仕掛け花火

地上から射撃

九品寺太子堂の新餘興

平町九品寺境内鎮座太子堂例祭は来月七月に行はれるが餘興として近づく防空演習に關し防空思想普及宣傳のため空襲を型とつた花火

大島の健兒行 (三)

少年團教育と實習所 渡邊啓二

營火(ジャンボリー)

是非やらねばならぬ設営作業が終る頃には夕闇に包まれてゐた。夕食後七時半から營火である。班毎に眞暗な、でも相當に廣い營火場に集合、此處では煙草嚴禁である一同所長の來るを待ちて靜かに起立、着席。これ等の諸動作は無言の中に行はれる、着席といつても砂地の上に必ず各自が持參する棧俵を置いて坐す

放牧の仔馬共が

ダニに食ひ殺さる

本郡下に於ける産馬地として知られる上遠野村は放牧地の大半が國有林に隣接して居り同國有林は殆んど火入を行はぬため最近になつて猛烈な勢いで「ダニ」が繁殖生育期にある大馬な仔馬が何れも瘦せ衰いて遂には斃馬が續出する有様で飼養者は各自ダニの手入を行つて来たがそれだけでは不十分で到底根絶できぬため近く植田營林署に對して火

特設の防護團 明二十九日午後一時から片倉製糸會社、磐炭平發電所、大日本電氣平營業所、日立變電所の各代表が平署會議室に集つたり來る防空演習に關して電氣取扱の打合せをなし同時に特設防護團に就きて協議する

中等校射撃戦に

警中平商共に意氣込む

濱通り警中、平商、双中、相中、相農の各中等學校は今秋十月十一日松本市外小山陸軍射撃場にて縣主催第

のである。所長の「點火」の命令で當番班の班長が中央に掘られた爐の薪に火をつける。今迄の暗黒は營火の微光によりて破られ次第々々に紅に燃え上る煙が四圍に輝き實習生を、樹木を山麓を描き出し、岸打つ波を和し、房總、三浦兩半島よりの燈臺の光と合す。おと神嚴なる境地、宗教的雰囲気、こゝろした宗教的藝術的野趣的教育の持つ味得は少年團教育のみの有する特權と思はれる「光の路」の合唱によりてジャンボリーのプログラムは初められる。

撃場に催すが協議會を開くと向地元兩校は榮ある第一回の出場権を獲得すべく早くも練習を開始した

四倉繭市況

四倉繭市場第三日目の二十

七日取引は出廻九百五十貫高値四圓七十錢、安値四圓二十錢、馴四圓四十四錢、二十五掛で出荷数はソロ

秋冬衣大陳列會

今秋染織界の王座卓越せるその技術

振袖丸	帶	江戸棲
錦紗小紋袋	帶	訪問着
殿方御召二枚重	殿方無及御羽織	京平袴
長襦袢	羽二重友仙	銘仙
着尺モスリン	友禪モスリン	夜具地

三井吳服店

電話二八四番

花柳病科外科 木村外科醫院

番九〇三話電 際橋目丁六町平

金融魔の取調書類

大行李にギツミリ

月餘に亘る大掛りな取調

愈よ身柄を検事局に送る

平町十五丁目平警察署前に一徳合資會社平支店を創立して當地方細民から血の出る様な積立金三萬餘圓を捲き上げた同支店長白石隆雄(六)は去月十八日檢舉以來、取調への進展につれて驚くべき巧妙な詐欺の正體を暴露、宮城、茨城、福島三縣に亘る魔の觸手を伸ばしてゐた餘罪續々判明、一ヶ月餘を経た昨今漸く取調

窃盜餘罪

續々白白

玉川の白米泥(既報)玉川村大字大原精米業小名山信篤方に忍び入り白米二俵を窃取して平署に檢舉された内郷村大字宮坑夫佐川眞治(三)は取調への結果、去る六月廿三日同村警察販賣所に忍び込み反物十反並に白米を窃取した外村内から前後數回に亘つて衣類白米等専門に搔拂つたこと自白他にも土用丑の日に村内氏名不詳方から鰻十貫匁を搔拂つたこと判明したが現在までの被害額は二百餘圓に上り餘罪ある見込で追究中

喧嘩に勝つた

餘勢で役場へ

土足の儘上り込み暴行 警部補に食つてかゝる

植田町本町二六居住錦村昭和人(三)は廿七日夜九時頃泥酔して小名濱町役場前通行中通り合せた同町松之中木宿安田屋止宿酒井初雄(三)千葉俊一(三)の兩名に喧嘩を吹きかけ恐喝中附近駐在中島警部補が静しんとするや同警部補に喰つてかゝり揚句役場内に土足のまゝ入り込んで暴行を働いたので檢束取調べた處

木登り小僧大怪儀

蟬取り中誤つて滑り落つ

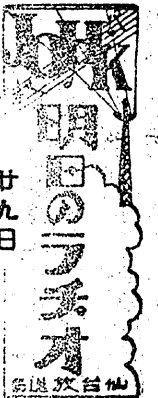
勿來町大字大高字館之内農福松三男安濟廣(三)は昨二

十七日午後一時頃裏の柿の木に登つて蟬取り中誤つて滑り落ちたトタン突き出た枝に股をひっかけ陰囊を破つて學丸を露出人事不省に陥ち入つた全治まで一ヶ月の

居寝り靴

列車内で窃取

上遠野村生れ當時住所不定富田資定(三)は二十六日午後三時頃常磐線上市内列車内



今晩も明日も南の風晴時々曇り

今晩の部

- 後六、〇〇 連続漫畫劇「ボンボコ姉弟」桃谷中繼
- 後六、二五 趣味講座 史蹟巡り「伊藤小左工門の八幡船」増田廉吉
- 後七、三〇 講演「二百十日を前にして」藤原咲平
- 後八、〇〇 謡曲「砧」梅若六郎他
- 後八、四〇 尺八獨奏「岩清水」小池玲山
- 後八、五〇 物語「若きエルの悲しみ」御橋公
- 後九、三〇 時報「ニユー」明日の話題 氣象通
- 前六、三〇 速成獨逸語講座 登張信一郎

遊びに出掛た愛兒

溺死体となつて浮き上る

湯本町字三函鈴木寅雄氏二男正道(八)君は昨廿七日午後一時頃友人と遊びに出かけたまゝ歸宅せず行方不明となつたので家人が八方捜

踊り子の休み場

鎌田遊廓が新設する

平町鎌田五色町遊廓組合では明後二十日から来月一日迄は舊の十四日から十六日に當り例年地方名物の踊りに當り押し寄せるため踊り疲れた踊り子や見物人の慰安に遊廓内に休憩所を設置することに成り本廿八日町役場に町有地七百五十六坪の借用願を提出したがなんせ同遊廓の踊りは例年踊り子が夜十時の城山の鐘を聴くと同時にどつと押し寄せて

泉村信用組合

泉信用組合は来る二十九日午後二時より小學校に役員會を開いて役員改選其他を協議する

旅役者の成れの果

公判廷で足眞似手眞似

散々叱られ求刑十ヶ月

既報酌婦を騙して金品を捲き上げた湯本町字日渡前科五犯無職赤坂幸一(三)に係る詐欺事件の公判は今二十日午前八時から平區で香西判事係り氏家檢事立會の下に開廷元旅役者の女形であつたけに手眞似足眞似で答辯に努めたが却つて檢事に叱られ懲役十ヶ月を求刑された判決言渡しは明二十日午前九時

裁判一束

△既報賭場の緋れから植田町の街頭に亂闘事件を演じた同僚を短刀で刺殺した植田町本町料理店エビスヤ主人高原新助(三)は過般豫審終結有罪と決定傷害、同致死常習賭博罪として起訴されたがこれが公判は来る九月八日午前九時から平支部で中島裁判長係り香西、野木

吉田眼科醫院

平町紺屋町

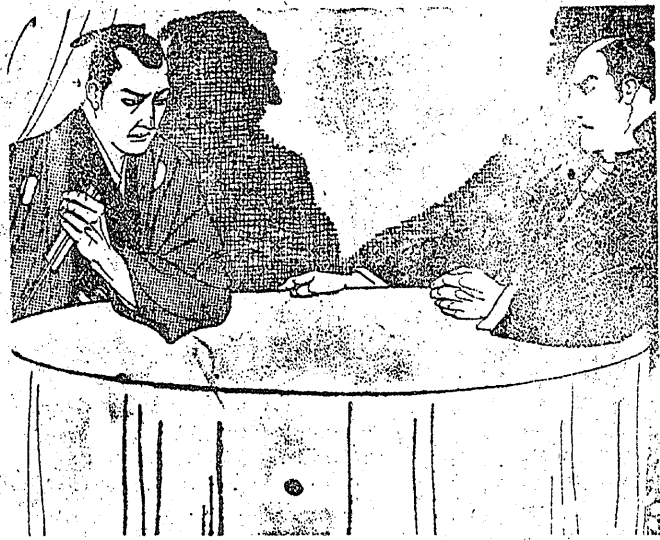
遂に捕へられた事件は其後平檢事局で氏家檢事取調べの結果罪狀明白となり今二十八日窃盜、公文書偽造行使罪として起訴されたが同人は昨年一月頃郷里に於て旅館の番頭をしてゐた際客の枕探しをした事あり起訴猶豫中の者であると



繞る瓦解の謎

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

二〇九 榎本の堅き決意
徳川幕臣のうちで勝先生がサラリと江戸城を官軍に開け渡したのを腑甲斐なき所爲である、矢一筋はなさず、一發の砲弾をおくらず一滴の血も流さず城を開け渡したのは武士の意氣地を知らぬこと、かう思つてゐるものが多い、後に報知新聞の主筆となられた栗本勲雲先生はその當時外國奉行であつたが明治時代になつても勝先生とは不仲であつたさうで、さういふころとて開陽丸にゐた人々は今日勝がこゝへ来たは榎本艦長を説いてこの船を官軍の手に引渡す目的をもつてゐるに相違ない、はたしてさういふ意思なれば勝を斬つてくれると刀の柄へ手をかけて艦長室の前にズラリと並び出て来るを待ちうけてゐる、これは事實です、勝先生を斬らうとしたものより私が聞いたことがあるこちらは勝先生榎本君にむかひ



勝『どうだ、今申したことが判つたか、江戸城を開け渡し慶喜公には水戸に引き取られて謹慎いたし居るしかるに今日多くの幕臣

ひ一家の生計につき苦心いたし居る、よつてその人々に自活の道をさづけむため蝦夷地には不毛の地も多くありそれを拓き自ら耕して自ら食ひかたはら國産をおこし國の富を計り二つにはわが國の海軍微弱にして彼國の國の海軍強國に乘じ露國佛國英國などの軍艦はわがもの顔に北地に航し他日ことを起す場合にこゝを根據地になさむとするの野心を抱き港々を測量いたし乗すべき機あらば、これを占領をなさむといはし居る、

ことがあやまりかな』と云ひました。榎本君はこの時やうやく口を開き榎『その御厚意まことにたじけなく存する、しかし拙者この度の擧は官軍を敵として戦ふ意志はござらぬ足下も知れるごとく幕府は名實共にこゝに仆れ累代の家臣共は世襲の祿をうしな

頂きその指揮命令のもとに幕臣共をして開拓及び防備をなさしめなばこのこと志望も成就いたす事と存じ申す、これらの事情も官軍に開陳して新政府の許可を得むと存じ居ります、又この事成就いたさば徳川家の維持も出来申すべく折角の御厚意なれど今に至つて乗り組し人々を解散せしめ又この船を官軍の手に引きわた

計時



高橋時計店
平町二丁目
・小役員募集委細面談。

すことはなり申さぬ、拙者等の微意よろしく御賢察くださるやう』と申した。勝先生はこれ聞いて勝『さうか、貴公の云ふところによると官軍を敵として戦ふ意志はもつて居らぬとのことであるが見るところでは何時にても戦ひのなるやう、それらの準備はこごとく整ひ居るがこれはどういふわけだ、俺には

これが判らぬよ』と云ひました。榎『御不審の段々御もつとも至極、我々共蝦夷地に行けば開拓して自活なす外に海岸を驚備いたす、外國の軍艦港に入り不埒なる行爲をなさばこれを傍觀いたすことはいませぬ爲めに砲火をまじへることもござらう、よつてそれらに應ずる爲め戦ひの準備も致しお

夏の御飲み物

アイスクリーム アツキアイス
ミルクゼーキ 別味 みつ豆
ソーダ水 色々 特製 氷あづき

例年通り始めました
ほどよく香のよい、宇治名産氷挽茶、御土産に好適なクリームモナカも御座います。
とても美味しい
『氷すいいか』

魚清食堂

平ニ暮暮客是通リ
電話六三三三

御進物に

鯉節

貝焼 鯉鹽から

魚問屋

榮盛賀志
番三一二話電 目丁四平

御案内

御贈答品

先づ最も重要な
商品切手

入	入	入	入	入	入
本	本	打	打	打	打
5	6	1	1	1	1
タ	ラ	布	箱	箱	箱
3	5	半	入	入	入
タ	ラ	布	箱	箱	箱
3	5	半	入	入	入
タ	ラ	布	箱	箱	箱
3	5	半	入	入	入

ワイシャツ及び下着シャツ類
その他化粧品・石鹼・洋品類

實用向贈答品
店内に澤山陳列して御座います。是非御來店の程御待ち申して居ります。

ヤルツ

電話七一一番

佛檀位牌 佛具一式 是非! 近江屋

二丁目
電話七一一番